

令和2年度予算

支出の内訳

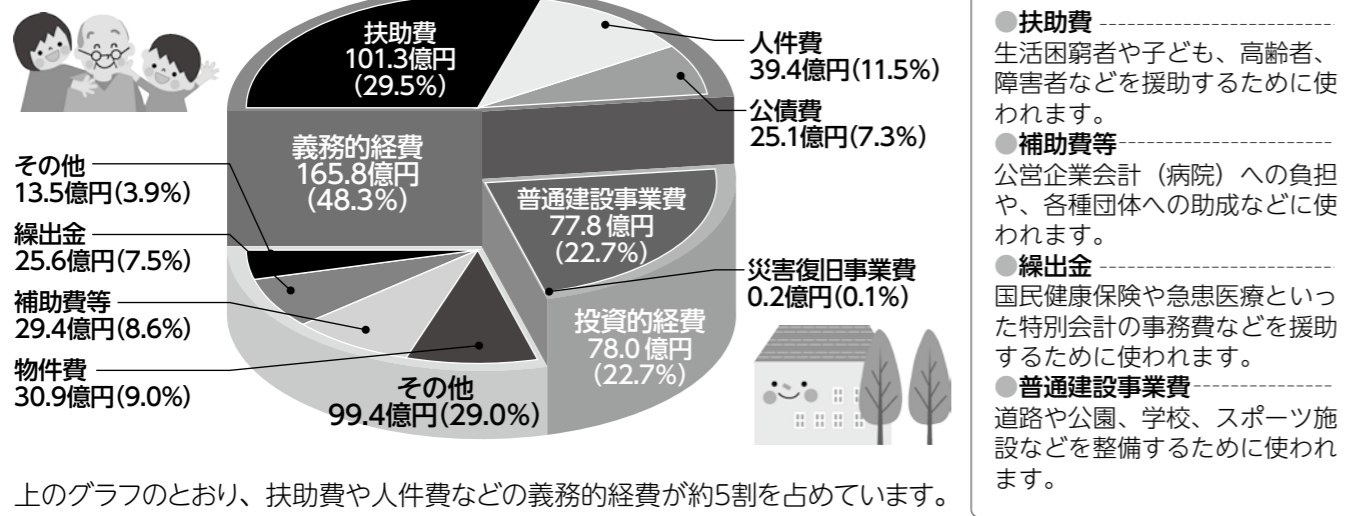
支出(歳出予算)を分析するためには、内容を民生費や土木費などの「目的別」に分ける方法と、人件費や公債費などの「性質別」に分ける方法があります。このように視点を分けると、市の予算がどのようなものに使われ、どのような支出が多いのかが分かります。

●目的別の使い道

民生費[139.6億円] 生活保護費や子育て支援、高齢者の医療・福祉の充実などに使われます。	教育費[77.3億円] 小中学校や図書館、公民館やスポーツ施設などの整備・管理などに使われます。	衛生費[35.9億円] ごみの収集や処理、し尿処理、医療や健康づくりなどに使われます。	公債費[25.1億円] 道路や公園、市営住宅などを整備するときに借りたお金の返済に使われます。
土木費[23.2億円] 道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理に使われます。	総務費[21.5億円] 庁舎の管理や広報の発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。	消防費[8.2億円] 消防署への負担金や消防団の運営、消防車の整備などに使われます。	農林業費[4.8億円] 農道や農業用水路の整備・管理、農林業の振興・発展のために使われます。
商工費[4.5億円] 商店街や中小企業の支援、企業や観光客の誘致などに使われます。	議会費[2.2億円] 市議会の運営のために使われます。	労働費[0.6億円] 失業者の相談を受けたり、働く場所をつくったりするためなどに使われます。	その他[0.4億円] 災害など緊急時に対応するために使われる予備費などです。

生活保護や福祉サービスなどにかかる民生費が予算全体の約4割を占めています。

●性質別の使い道



上のグラフのとおり、扶助費や人件費などの義務的経費が約5割を占めています。これは自由に使えるお金が少ないということで、新しい市民サービスや公共施設を整備するためには、財源の確保が非常に重要であるといえます。

市の予算

市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類に分かれており、それぞれでその収支を管理しています。

一般会計 市で一番大きい会計で、福祉・子育て、学校の運営や道路整備などまちづくりに必要なさまざまなお金を経理しています。	特別会計 収入や使い道などをはっきりさせるために、一般会計とは別に経理しています。本市には、「国民健康保険」、「急患医療」など全部で5つの特別会計があります。	公営企業会計 一般的な会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っている会計です。本市には、「病院事業会計」があります。
--	---	--

一般会計

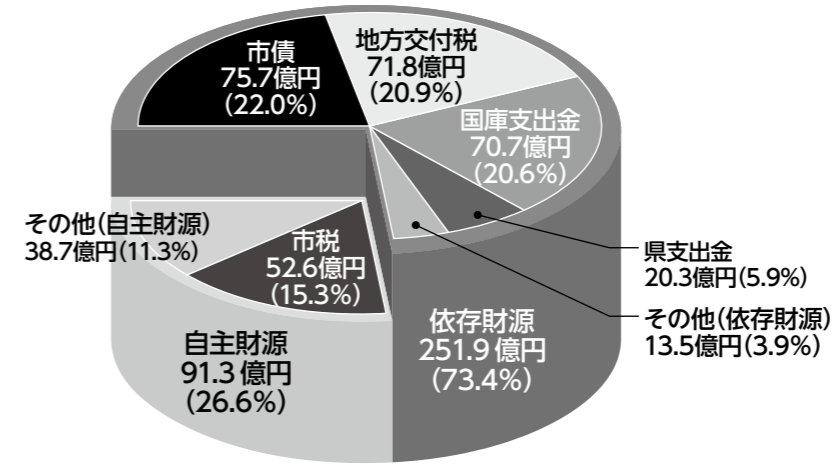
最初に、みなさんに一番身近で、金額が一番大きい一般会計について説明します。

総額 343億1,982万円

※3月13日に議決された令和2年度補正予算を含みます。

収入の内訳

市が、さまざまな市民サービスを行うために集める収入(歳入予算)の状況です。この収入は、大きく自主財源と依存財源の2つに分けることができます。



上のグラフのとおり、収入の約7割が「依存財源」であるため、本市の財政状況は国の動向によって大きく左右されます。

●自主財源
 みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、本市が自主的に財源として集めることができる収入です。

●依存財源
 国や県からもらう補助金や、国が集めた税金を配分する地方交付税のほか、市の借金である市債などの収入です。福祉サービスや道路、施設の建設などに充てられます。国や県などから受け取るため、税などの自主財源に対して依存財源といわれます。

第5次総合計画

「実施計画事業」

本市のまちづくりの将来像や基本的な考え方を掲げる「田川市第5次総合計画(基本構想、基本計画、実施計画)」。

本市では、より住みやすく、魅力あるまちを目指して、後期基本計画(計画期間平成28年度～令和2年度)を策定しています。

この計画を達成するために必要な事業を「実施計画事業」として立案し、推進していきます。

将来像

ひとを育て自然と産業が共に息づくまち田川

活力あるものづくり 産業都市を目指して

令和2年度の一般会計予算343億1,982万円のうち、実施計画事業の事業費は128億7,000万円で、全体の約37.5%を占めています。

第5次総合計画における分野ごとの事業費と、新規追加、内容の拡充などを行った主な実施計画事業は次のとおりです。

- 都市づくり(20.8億円)
自然豊かで安全・快適に暮らせる美しいまちづくり
- 田川伊田駅前広場整備事業

- 公共交通網形成事業
- ふるさと就職支援事業

- 産業・経済(3.9億円)
環境にやさしく魅力あふれる産業を育むまちづくり
- シニアプロモーション事業

- 医療・福祉(32.0億円)
互いに支えあい誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり
- 健康ポイント事業
- 骨髄等移植ドナー助成金事業
- 子育てクーポン券支給事業
- 一般介護予防事業
- 地域生活支援事業

- 教育・文化(69.2億円)
郷土を愛し豊かな心と創造力を育むまちづくり
- 学校適正規模推進事業
- 地域学校協働活動事業
- オリンピック・パラリンピックキャンパ地誘致推進事業

- 行財政運営(2.8億円)
期待と信頼に応え市民と共に歩む「さわやか」なまちづくり
- ふるさと寄附推進事業